

5月連休は忠類地域が大賑わい

5月3日にアルコ2306前の広場で東日本大震災復興チャリティコンサートが開催され、合唱や吹奏楽、お琴など7団体がすてきな演奏を披露してくれました。5月3・4日の2日間、道の駅忠類前の広場でパオ君マーケットが開催され、パッチワークや羊毛品、手打ちそばなどを販売し、多くの人で賑わっていました。5月5日は子どもまつりを開催しました。餅つき体験や子ども縁日、ゆり根入りの忠類なべや忠類するこ等も販売されました。子どもたちにはゆり根入り大福がプレゼントされ、とてもおもしろいと大好評でした。



チャリティコンサート



パオ君マーケット



子どもまつり

子ども餅つき



第11回忠類地域住民会議

4月13日、第11回忠類地域住民会議を開催しました。

会議の始めに、前回に引き続き事務局より「魅力づくり会議(仮称)」について、活動する団体の人たちが、地域を活性化するために、意見交換や情報の共有をしながら地域の魅力づくりを推し進めていく活動を行うことで成り立っていくという考えを説明しました。

その後、委員から「この地域に来たときに、他の町と違う印象を与えることが必要で、他にない全道一の話題を持つような南の玄関口としての役割があるのではないか」、「高規格道路が忠類へ延伸した時に、いろいろな所からこの地域に来た人に具体的に何を発信し何を魅力として売り込むのかを具体的に考えていく必要がある」等の意見がありました。

その後、観光の目玉となる物について協議され、丸山やヒカリゴケ、音楽による町おこし等の意見があり、「魅力づくり会議(仮称)」が具体的に実現した際に、成功したと思えるようにとの熱い協議がありました。

平成22年度中山間地域等直接支払制度実施状況

中山間地域等直接支払制度は、農業生産条件の不利な地域に対して、農業生産活動などの維持や国土保全を目的に交付金が交付され、「集落」が受け取ります。集落は協定に参加している農業者で組織・運営され、協定参加者の同意のもと、自らの手で目的達成のためにさまざまな「共同取組活動」を計画・実施します。

◎共同取組活動の内容

- ・コントラクター事業の実施
- ・国道沿いの景観作物の植栽
- ・農業用廃棄物の適正処理
- ・防疫業務の実施
- ・水路等の草刈り
- ・農道等の管理補修 など

◎集落協定の概要

集落協定数	1集落(忠類集落)	
協定参加者	98名(町内91名 町外7名)	
交付対象面積	29,002,258㎡	
平成22年度交付金総額	43,503,387円	
内訳	個人交付額(20%)	8,656,700円
	共同取組活動(80%)	34,846,687円

◎IT/WA事業利用実績 ()内H21実績

作業内容	利用面積	戸数
1番草収穫作業	996.03 ha (890.44 ha)	29戸 (29戸)
2番草収穫作業	671.82 ha (577.78 ha)	22戸 (20戸)
デットコーン収穫作業	306.22 ha (243.15 ha)	19戸 (19戸)